

いきいき通信



性別により制約されることなく、男女が対等な立場であらゆる分野に参画し、責任を共に担う男女共同参画社会の実現を目指します。



男女共同参画週間



いきいきフォーラム



蔵の町すざか昔を語る会

須坂市男女共同参画推進市民会議では、男女共同参画意識の向上のため男女共同参画いきいきフォーラムや輝く女と男^{ひと}と男^{ひと}セミナーなどを開催し身近な地域から、市民の皆さんとともに学び活動しています

●須坂市男女共同参画推進市民会議の構成団体(順不同)●

退職公務員連盟須高支部女性部・須坂市シニアクラブ連合会女性部・須坂市民生児童委員協議会・須坂市PTA連合会・JANAの女性部須高ブロック・須坂商工会議所女性会・須坂青年会議所・須坂市保育園保護者会連合会・須坂市女性団体連絡協議会・共同参画をめざす会須高支部・須坂せせらぎ生活学校・須坂市連合婦人会・須坂市消費者の会・須坂市食生活改善推進協議会・連合長野高水地域協議会須高地区連合会・長野県農村生活マイスター協会上高井支部須坂地区・須坂市保健補導員会・信州須坂風土舎・ファミリーサポート稚児百合・環境を守る会・長野県在宅看護職信濃の会・須坂市区長会・長野人権擁護委員協議会須高部会・須坂市男女共同参画推進委員会 ほか個人会員

みんな
笑顔で

地域の活動を紹介します



須坂商工会議所女性会

◆須坂商工会議所女性会とは

須坂商工会議所の会員事業所の女性経営者・事業主の奥さんや娘さん・女性従業員さんが集まって活動している団体です。今年で創立35年を迎え、現在は25名が所属しています。

須坂商工会議所女性会は、①会員自身の資質向上、②職種を超えた仲間づくり、③地域への貢献の3つの目的を持っていきます。今回はこれまでに取り組んできた地域貢献活動を紹介します。

◆フードドライブ活動

企業や家庭で、賞味期限は切れていないけど保管されたままになっていく食料品を持ち寄り、食料を必要としている方々に届ける「フードドライブ」を行っています。

毎年10月に開催されている社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」でブースを出展し、多くの皆様にご寄付いただいています。2023年10月14日



「第39回ふれあい広場」で集まった食料品の一部

(土)に開催された同イベントでは食品数256点、約650kgの食料品を集めることができました。集められた食料品は、須坂市社会福祉協議会やNPO法人フードバンク信州をとおして食料を必要としている家庭や福祉施設や支援団体へ寄付されました。

◆コロナ禍に市内医療従事者へ手作りハーバリウムボールペンを寄贈

2021年の新型コロナウイルス流行の中では、医療従事者へ感謝とエールを贈るため手づくりのハーバリウム

ボールペンを製作し、須高医師会を通して市内医療機関に100本を贈呈しました。ボールペンにはメッセージを刻んだオリジナルのアクリル製ペンチャームも付け、ひっそり癒しを感じてもらえたら嬉しいと考えて製作しました。



ハーバリウムボールペン製作中。ドライフラワーやビーズを詰め込む根気のいる作業でした



ハーバリウムボールペン完成品

◆今後の活動

様々な職種の女性が集まっている須坂商工会議所女性会。地域のために少しでも貢献できるよう、様々な視点から柔軟な発想で活動できるように努めてまいります。



輝く女と男セミナー

須坂市男女共同参画推進市民会議では、男女共同参画に関する課題について学び、理解を深めようと、10月21日に一般参加者も含めた講演会を開催しました。

◆演題「輝く」って何だろう?

〜信州から始まった新聞記者人生〜
講師：小国綾子さん(毎日新聞社記者)

「何か一つ選んだら、何かをあきらめなきゃいけないの?」。結婚、妊娠、出産に直面し、女性は幾度となく悩みます。選んだりあきらめたりを繰り返し、時には「仕事も育児も70%。でも足したら140%!」と両立を目指した自身の半生を振り返り、結婚・出産をしても、しなくても等しく大切にされる、そんな社会について考えました。



参加者の感想から

● コロナによって家事・育児を多く担当している女性の負担が増えた・浮き彫りになったという話を聞き、コロナで大変な事が多かったが、問題が顕在化した事はよかった事だと思った。この機会を活かして女性に家事・育児を任せがちな社会が変わってほしいと思った。(20代男性)



● 男性、女性関係なく、おたがいに相談し、考え、意見を話す、そんな時代になってほしいですね。こうして、考える事をやっていく事が大切だと思います。私の上司は女性でしたが、男性よりも家庭をみて考えてもらえるので、家庭を大切にできる方を上司にしていける会社になってほしいですね。(40代男性)

● 最後の言葉「働け、生め、育てろ、介護しろ」という事が、印象的だ。男のわがままのよ

うな気がする。(70代男性)

● 学生時代から、女性のキャリア、結婚、家庭との両立について考えてきました。働くようになり、自分のキャリアを叶えるのは難しいと感じていましたが、今日話しを聞いて、自分らしく、少しずつ進んでいきたいと思いました。(20代女性)

● 私も「均等法第一世代」です。お話の内容にとっても共感できました。社会全体で意識は変わってきていますが、まだまだ女性に負担がかかっています。次の世代のために「いろいろな選択肢がある」ということを、自分でも行動しながら伝えていきたいと思いません。(50代女性)

● 輝くって何だろう。まず自分が何を考えること大切なんだと思う。小国さんの話おもしろい！ものの方とかいいなって思った。普通の話しがたいへんに勉強になった。又講演してほしい。仲間って大事。(60代女性)

● 社会変革の土台にジェンダー平等の課題の解決があると思います。男も女も口先でなく本気で実践的にとり組まねばと思ってお聞きしました。最後に話された個人モデルと社会モデルのはなしは今日の講演の中で一番すばらしい内容でした。(80歳以上女性)

市議会 議員研修会

須坂市議会議員研修会（講演会&パネルディスカッション）「女性のチカラでまちを元気に！」を、市民会議も共催させていただき、パネルディスカッションには、市民会議の高橋洋子会長もパネリストとして参加しました。

研修会の詳細は、市議会報「こんにちは須坂市議会です」第176号(2023年11月1日発行)28ページをご覧ください。



第1部（講演会）は、講師に白井文さんを迎え、「女性の力を社会に生かす」市議会議員を二期、市長を二期務めた経験から」と題し、女性の政治参加について考えました。（白井文さん略歴：尼崎市議会議員（2期）、尼崎市長（2期）を歴任、現在は上場企業の社外取締役を務める）

講演要旨：第六次須坂市男女共同参画計画を参考に、市議会定数20人に対し、女性議員が1人であること、区・自治会の役員も女性が少ない状況に触れ、「意思決定過程に女性が参画していない」現状を指摘。性別に関係なくふさわしい人に役員を担ってもらうことが大切であり、固定的役割意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を取り払うことが重要と話されました。

第2部（パネルディスカッション）

テーマ：「女性議員になってもハードルが高いの？」

▽コーディネーター

浅井洋子須坂市議会議員長

▽パネリスト

白井 文さん

宮島麻悠子さん

（元地域おこし協力隊員）

高橋洋子会長

高橋会長からは、「家庭、子育てで地域のことには密着しているのは女性。もっとよくしたいという思いを実現してくれる身近な存在が議員。女性が議員になるためにも、大切なのは地域から女性を出そうという意識啓発が必要。また政治参加の場所をつくっていくためにも、議会や議員活動を知る必要がある。そのため、市民会議で議会を傍聴することを計画したい。」と発言しました。





男女共同参画社会って？



男性と女性が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会の事です。

こんな経験したことありませんか？

「男性は仕事、女性は家庭」、「男だから強くなりなさい」、「男の子はくよくよしない!」「女だから控えめにしなさい」「女の子だからおとなしくしなさい」などの、価値観に縛られていませんか？

性別による固定的な役割分担の考えが根強く残り、この役割分担意識に縛られて自分の希望を叶えられない人が多くいます。一人ひとりが豊かな人生を送る上で、性別にとらわれることなく家庭や学校、職場や地域でそれぞれの個性と能力を発揮できるような社会づくりが必要です。

●家族みんなで積極的に家事や子育て、介護などを行っています。

家庭では…

地域では…

●ボランティア活動などに男性も女性も主体的に関わり、住みよい地域づくりに参画しています。

●進学や就職などにおいて、性別にかかわらず個人の意思や能力を尊重した進路選択ができています。

学校では…

職場では…

●男性も女性も、家庭、地域生活と両立ができ、働きやすい職場環境になっています。

男女共同参画社会が
実現すると



男女共同参画いきいきフォーラム

家庭や地域にある身近な出来事から
男女共同参画を考えます

オリンピック
日本代表

「ママさんアスリート」による
講演 & パネルディスカッション

2024年 2月3日(土)

13:30~15:30(開場 12:45)

会場：須坂市文化会館

メセナホール(小ホール)

定員：先着 300名 参加料：無料

申込期間：2024年1月4日(木)~1月24日(水)

※当日の参加も可能です(事前申込者優先)

※託児が必要な場合は事前申込時にお知らせください。



お申し込み：左記の二次元バーコードから
アクセスの上お申し込みください。

お問合わせ：須坂市社会共創部
人権同和・男女共同参画課
(TEL 026-245-0909)

主催 須坂市男女共同参画推進市民会議・須坂市



【恋人の聖地事業】 本事業はデジタル田園都市国家構想交付金
(地方創生タイプ)を活用しています

第1部 講演

講師：ソチ五輪フリースタイルスキー代表

上野 真奈美さん(野沢温泉村在住)



第2部 パネルディスカッション

進行：上野真奈美さん

パネリスト：バンクーバー五輪スキークロス代表

福島 のり子さん(白馬村出身)



リオデジャネイロ五輪水泳代表、
200m平泳ぎ金メダリスト

金藤 理絵さん(東御市出身)

【事例紹介】 須坂市男女共同参画推進市民会議の活動発表
(設立30年を迎えて)

相談無料秘密厳守

ドメスティックバイオレンス(DV)

DV相談ナビ #8008(はれれば)

(最寄りの配偶者暴力相談支援センターにつながります)

DV24時間ホットライン(毎日24時間)

026-219-2413

女性相談センター(月~金 8:30~17:15)

026-235-5710

女性の一般相談

長野県男女共同参画センター"あいとびあ"

0266-22-8822

一般相談 火~土 9:00~12:00、13:00~16:30

法律相談(要予約) 第1、3木曜日

カウンセリング(要予約) 第2土曜、第4金曜日

須坂市人権同和・男女共同参画課

026-245-0909

※来庁される場合は、事前にお電話をください。

編集・発行

須坂市男女共同参画推進市民会議

須坂市社会共創部人権同和・

男女共同参画課

このパンフレットは、
19,500部作成し、1部1150円です。